

平成26年度  
上下水道局予算要求方針

【目次】

- 1 平成26年度上下水道局予算要求総括表及び経営方針・・・1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・3

# 1 平成26年度上下水道局予算要求総括表及び経営方針

## (1) 平成26年度上下水道局予算要求総括表

平成26年度から地方公営企業の会計制度が大きく見直されます。

主な改正点は、

- ・企業債（借入資本金）は、貸借対照表の資本から負債に計上
- ・退職給付引当金（全職員退職時に見込まれる退職手当総額）計上の義務化
- ・補助金などは、貸借対照表の資本から負債に計上

などです。これにより、会計処理上は収益的収支に影響を与えますが、資金収支に影響を与えるものではありません。

### 【上水道事業会計】

#### 〈水道事業〉

平成26年度要求総額	36,075,480千円
(平成25年度予算額)	31,226,680千円
前年度比	4,848,800千円 (15.5%)

#### 〈水道用水供給事業〉

平成26年度要求総額	1,096,122千円
(平成25年度予算額)	795,340千円
前年度比	300,782千円 (37.8%)

### 【工業用水道事業会計】

平成26年度要求総額	2,931,041千円
(平成25年度予算額)	2,478,110千円
前年度比	452,931千円 (18.3%)

### 【下水道事業会計】

平成26年度要求総額	57,120,366千円
(平成25年度予算額)	50,456,260千円
前年度比	6,664,106千円 (13.2%)

## 《主な事業》

(千円)

区 分	H26 A	H25 B	増減 A-B
(拡充) 水道老朽管更新事業 (水道)	5,090,000	4,752,200	337,800
(拡充) 浸水対策事業 (下水道)	3,000,000	2,500,000	500,000
(拡充) 地震等対策事業 (上下水道)	2,730,000	2,571,487	158,513
(拡充) 残留塩素低減化対策 (水道)	103,000	10,000	93,000
(継続) 下水汚泥燃料化事業 (下水道)	660,000	1,400,000	△740,000
(拡充) 水道事業の広域化 (水道)	148,000	29,139	118,861
(拡充) 海外事業の展開 (上下水道)	176,353	146,738	29,615

※ 浸水対策事業には、合流改善事業の一部を含む

## (2) 平成26年度上下水道局経営方針

上下水道局においては、中期経営計画に基づき積極的な事業展開と健全経営の維持の両立に取り組みます。特に、大規模漏水事故の未然防止や浸水被害の軽減化などの防災対策を進めるため、老朽管更新や地震対策などに取り組み、市民が安心して暮らせる災害に強いまちづくりを推進します。

また、水道事業の広域化や海外事業の戦略的な推進に努めます。

### ■ 重点的に取り組むもの

- 水道老朽管更新事業に50.9億円、上下水道の地震対策事業に27.3億円、浸水対策に30億円をそれぞれ計上し、継続的な対策を推進
- 新たな広域連携の推進及び海外水ビジネスの積極的な展開

## 【上水道事業会計】

### 〈水道事業〉

#### ■ 健全経営の維持

- 収益的収支は、18.0億円の赤字（退職給付引当金等が34.1億円の増）
- 単年度資金収支は、6.3億円のマイナス
- 企業債残高は、0.5億円の増

### 〈水道用水供給事業〉

収益的収支で3.9億円の赤字が見込まれるものの、給水対象が2都市増え、給水量が増加する平成28年度を目途に、単年度収支を黒字化します。

## 【工業用水道事業会計】

地元企業の経済支援や企業誘致を促進するため、料金制度を見直します。

#### ■ 健全経営の維持

- 収益的収支は、0.2億円の赤字（退職給付引当金等が4.2億円の増）
- 単年度資金収支は、0.1億円の黒字を確保
- 企業債残高は、0.1億円の縮減

## 【下水道事業会計】

#### ■ 健全経営の維持

- 収益的収支は、14.1億円の赤字（退職給付引当金等が14.2億円の増）
- 単年度資金収支は、3.2億円のマイナス
- 企業債残高は、42.3億円の縮減

## 2 重点的に取り組みを行う主なもの

### (1) いつでも安定して供給できる水道

自然災害や老朽化による漏水事故を未然に防ぐ対策として、経年劣化した水道施設の更新や耐震化を実施するとともに、これらが発生した場合でも安定した給水体制を確保するため、バックアップ機能の強化などに取り組みます。

Ⅲ－１・拡充

#### ■水道の老朽管更新事業

5,090,000千円

(うち拡充分337,800千円)

経年劣化が進んでいる配水管・導送水管を計画的に更新するとともに、重要な管路の耐震化を推進します。なお、更新延長を年50kmから年62kmへ前倒し実施することにより、平成32年度までに老朽配水管(昭和47年以前の鑄鉄管)の更新を終了します。

- ・ 配水管更新 L=62km 4,183,520千円
- ・ 導送水管更新 L=2,955m 906,480千円

Ⅲ－１拡充

#### ■水道の地震等対策推進事業

1,330,000千円

(うち拡充分58,513千円)

地震による漏水事故を未然に防ぐ対策として、耐震化を計画的に実施するとともに、地震等災害の発生時でも安定した給水体制を確保するため、送水管の2条化整備などによるバックアップ機能の強化にも取り組みます。

- ・ 地震対策推進事業 789,560千円  
浄水施設や配水池の耐震化工事など
- ・ バックアップ機能の強化対策 516,500千円  
小森江系送水管 L=1,500m など
- ・ 災害対策整備事業 23,940千円  
小熊野配水池法面整備工事 など

### (2) お客様が安心しておいしく飲める水道

さらに安全でおいしい水をお届けできるよう、水質の向上に取り組みます。

Ⅲ－１・継続

#### ■遠賀川の水質改善対策

9,600千円

遠賀川流域の水質・環境の改善を図ることを目的とする住民団体等による環境保全活動などに対して支援を実施します。

Ⅲ－１・拡充

#### ■残留塩素低減化対策

103,000千円

(うち拡充分93,000千円)

浄水場での塩素注入削減や配水池などでの追加塩素方式を組み合わせた残留塩素の低減化対策を井手浦浄水場及び穴生浄水場の給水エリアで実施します。

- ・ 追加塩素設備設置工事 など

### (3) 安全で安心なまちを支える下水道

豪雨による浸水災害や東日本大震災等を踏まえ、安全で安心な災害に強いまちづくりに取り組みます。

II-1・拡充

■浸水対策事業 3,000,000千円

(合流改善事業の一部を含む) (うち拡充分500,000千円)

平成25年7月の集中豪雨での被害箇所への新たな対策に着手します。

また、平成21・22年に発生した集中豪雨被害に対する「水害から市民を守る緊急整備事業」は最終年度となる平成26年度までの完成を目指し、引き続き重点的に取り組みます。

他の地区についても、浸水のない安全で安心なまちづくりを目指し、計画的な浸水対策を推進します。

・水害から市民を守る緊急整備事業 1,000,000千円

門司区大里東、小倉北区宇佐町、戸畑区菅原・天籟寺、  
小倉南区沼本町、若松区本町、八幡西区真名子 など

・浸水対策事業の推進等 2,000,000千円

門司区柳町(門司駅周辺)、若松区桜町北湊など

II-1・拡充

■下水道の地震対策推進事業 1,400,000千円

(うち拡充分100,000千円)

東日本大震災をふまえ、地震時でも下水道の機能を確保するため、重要施設である日明浄化センター管理棟建替え(水ビジネスの国際戦略拠点としても活用)など、浄化センターや管渠等の地震対策を推進します。

・主な浄化センター 日明(小倉北区)、皇后崎(八幡西区)

・主な管渠：高峰初音町幹線(戸畑区)など

### (4) 環境未来都市を推進する上下水道

低炭素社会の実現のため、エネルギー消費や環境負荷の少ない事業運営を目指します。

IV-2・継続  
【新成長戦略関連】

■下水汚泥燃料化事業 660,000千円

下水の処理過程で発生する下水汚泥からバイオマス燃料をつくり出し、石炭代替燃料として利用することで、CO<sub>2</sub>の削減を図ります。

・日明浄化センター

IV-2・継続

■太陽光発電設備設置事業 41,000千円

配水池などの上下水道関連施設に太陽光発電設備を設置し、再生可能エネルギーの活用によりCO<sub>2</sub>の削減を図ります。

・配水池 2箇所

IV-1・継続

■省エネルギー対策整備事業 67,000千円

送水ポンプの適正化や配水ブロックの改善により、エネルギーロスを減らし消費電力の削減を図ります。

・送水ポンプ等更新 工事 など

## (5) 世界・地域に貢献する上下水道

新たな広域連携を推進するとともに、本市の培ってきた環境技術・運営ノウハウを活かし国際貢献に寄与します。

### Ⅶ－３・拡充

#### ■水道事業の広域化

148,000千円

(うち拡充分118,861千円)

新たな広域連携を推進するため、周辺地域を「宗像地域」「遠賀川流域地域」「市南部地域」「市東部地域」の4ブロックに分けて、関係機関等との広域連携の検討などを進めます。また、市南部地域の香春町に対し、水道用水供給を行うための施設整備を香春町の全額負担で行います。

- ・ 広域連携推進調査検討業務
- ・ 香春町水道施設整備 など

### Ⅶ－３・拡充 【新成長戦略関連】

#### ■海外事業の展開

176,353千円

《海外水ビジネスの展開とウォータープラザを中核とする国際戦略拠点の形成》

(うち拡充分29,615千円)

カンボジア、ベトナム・ハイフォン市、インドネシア及び中国・大連市等において、技術協力・人材育成に貢献するとともに、官民連携組織「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸に海外水ビジネスを推進し、アジアなどのグローバル需要を取り込むことを目指します。また、日明浄化センター管理棟建替え（平成26年度完成予定）に併せ、ウォータープラザを中核とした水ビジネスの国際戦略拠点づくりを進めます。